

学びの宝庫、飯田

～ 大学生からのメッセージ ～

No.62

ソーシャルキャピタルフィールドスタディで学んだこと

名城大学都市情報学部 3年

まつおか まよ
松岡 麻世 (岐阜県海津市出身)

今回、共通カリキュラムフィールドスタディで「ソーシャルキャピタル(社会的関係資本)」をテーマに学ばせていただきました。飯田の市民活動がとても豊かなことに驚き、そこには①市民一人ひとりが当事者意識を持ってアイデアを出し合い、議論に参加していること、②人々のつながりを大切にし、お互いに助け合っていること、③みんなが平等で意見を言い合える共創の場があること、④市民活動を素直に受け止めてくれる頼れる行政がいることなど、他の市町村にはない特徴があることも学びました。

私は天竜川がりゅうきょう驚流峡復活プロジェクトのヒアリング調査を担当し、実際に竜丘地区の方にお話を伺って、地域愛と当事者意識の高さに感心しました。有数の観光地である天竜川・驚流峡の以前の姿を取り戻したいという熱い思いがプロジェクトの求心力となり、協働の基盤となっていると深く感じました。

私も地域の行事に積極的に参加して、飯田のような活気あふれる温かい地域になるように今回の経験を生かしていきたいと思います。



フィールドスタディの参加者